ウッドデッキ用支持脚
ＰＤＢシリーズ　施工要領書

1.はじめに

このたびは弊社ウッドデッキ用支持脚をご採用いただきありがとうございます。
製品の特性を充分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して頂くために
本書をよく読み、正しくお取り扱いくださいますようお願いします。

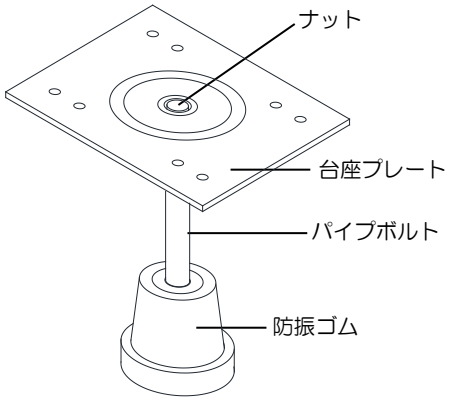
2.施工工具一覧

- 電動ノコギリ（丸ノコ）
- ドライバー（＋）
- インパクトドライバー
- 水平器
- 水糸
- レーザー水平器
- スケール
- カッター
- ほうき
- ちりとり

3.製品仕様

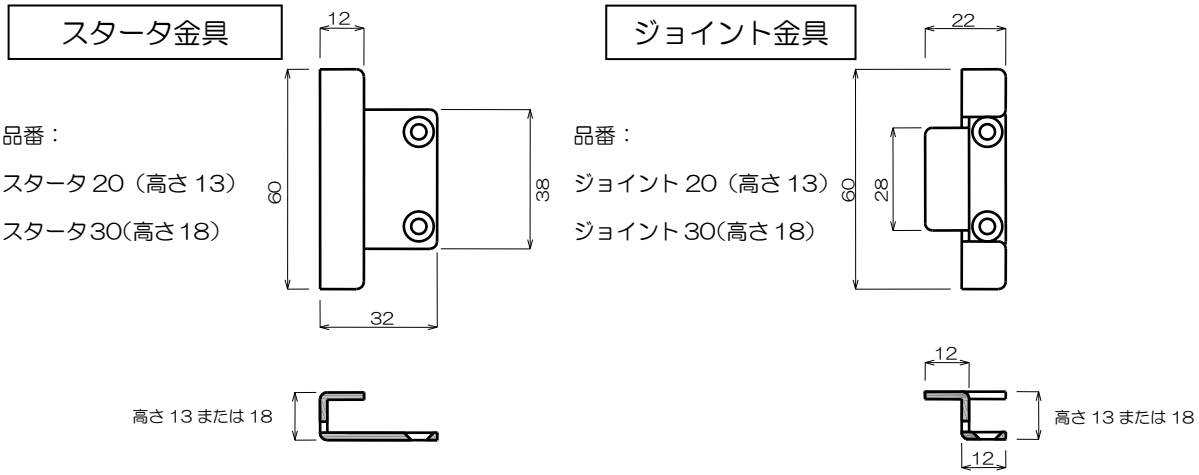
①支持脚の構成（PDB 型）

品番によりナットの形状及び寸法が変わります。
品番によりパイプボルトの長さが変わります。
PDB-160 以上の品番は、パイプボルトの径が太くなります。



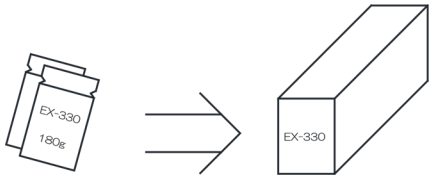
ST-GJ-154（第 4 版）2021.11.01

②スタータ金具・ジョイント金具（別売）



③接着剤（同梱）

アルボンＥＸ－３３０
（２液混合型シリコーン変性エポキシ樹脂系弾性接着剤）
１パック：180ｇ入り×２パック
（１パック＝主剤 100ｇ＋硬化剤 80ｇ）



4.施工手順

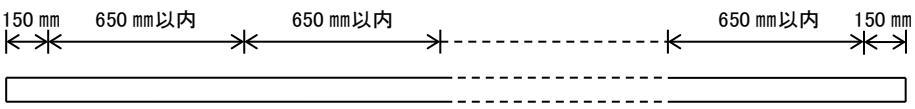
4.1 施工を始める前に

・スラブ面にゴミがないように清掃します。
・床高に合った支持脚であるか確認します。
・ネダ材、デッキ材の数量を確認します。（ネダ材、デッキ材別途ご用意ください。）

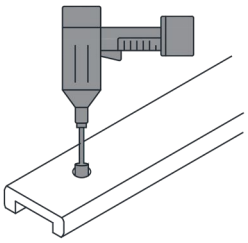
4.2 支持脚の取付け

①ネダ材にレベル調整および接着剤注入用の、Φ15mm 前後の穴あけをします。
ネダの両端より１５０mm内側の位置から等分し、６５０mmピッチ以内とします。
なお、デッキ材が変わると支持間隔が変わることがあります。

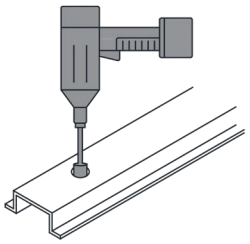
穴あけ位置



穴あけ（φ１５mm前後）



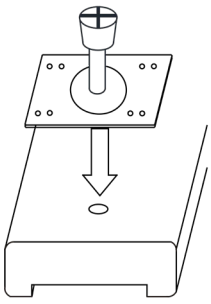
＜木ネダの場合＞



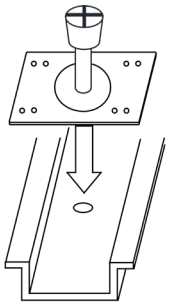
＜ハット型鋼ネダの場合＞

②ネダ材（平らな面側）の穴に、支持脚の穴を合わせます。

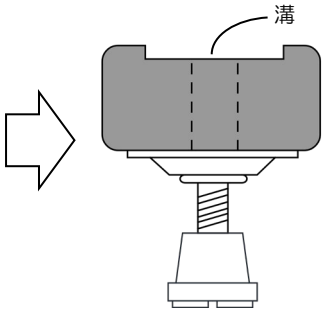
木ネダは溝のない方に支持脚をつける。



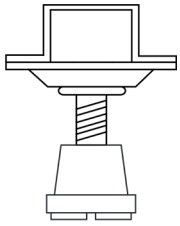
＜木ネダの場合＞



＜ハット型鋼ネダの場合＞

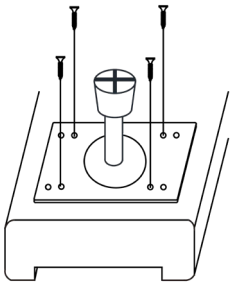


＜木ネダの場合＞

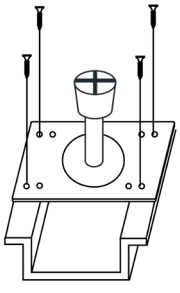


＜ハット鋼型ネダの場合＞

③台座プレートをビス留めし、支持ボルト（パイプボルト）を取り付けます。
ネダ材が硬くビスが入らない場合は、下穴をあけるなどしてください。



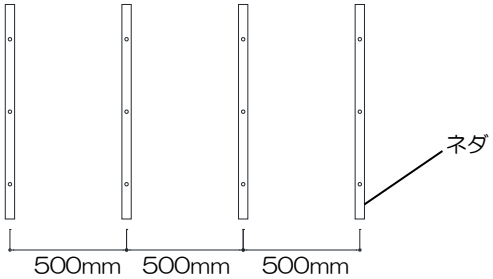
＜木ネダの場合＞



＜ハット型鋼ネダの場合＞

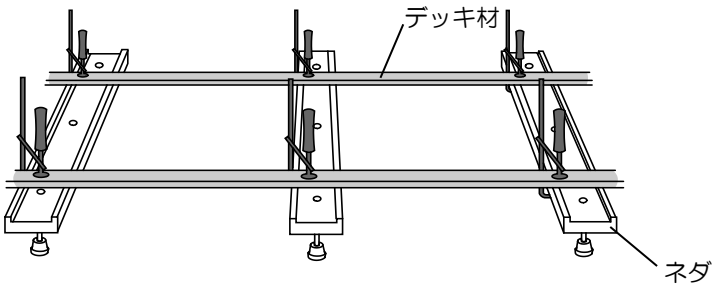
4.3 ネダの配置

支持脚を下にして、５００mm以内の間隔で配置します。

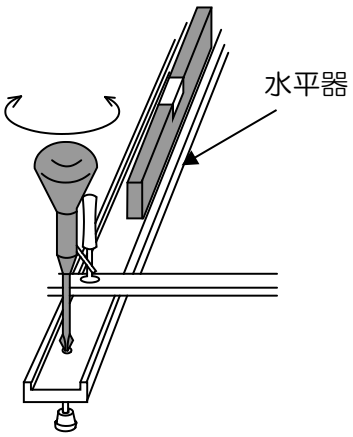


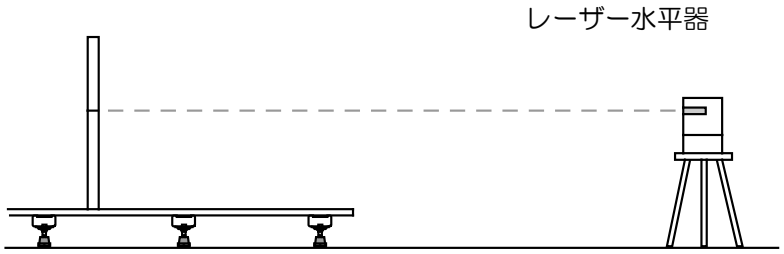
4.4 高さ調整

①デッキ材を下図の要領で仮固定します。



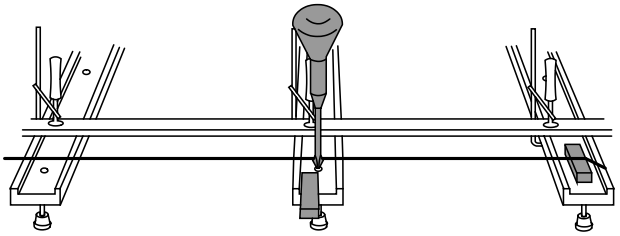
②両端のネダのレベルを出します。



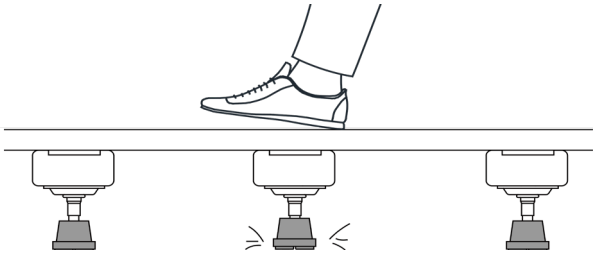


かね尺等を支持脚上に立て、ドライバーでボルトを回し、
同じ位置にレーザーがあたるように高さを調整します。

③両端のネダから糸を張り、中間のネダのレベルを出します。



④全ての支持脚をチェックし、浮いている支持脚がないようにします。



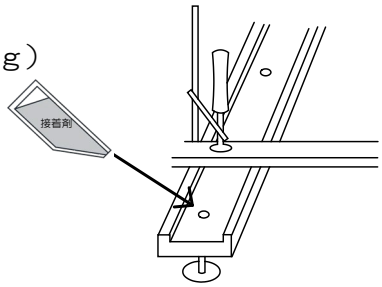
4.5 接着剤の注入

注入に際しては、下記の使用方法、注意事項を遵守してください。

＜支持脚用接着剤　アルボンＥＸ－３３０＞
２液混合型シリコーン変性エポキシ樹脂系弾性接着剤

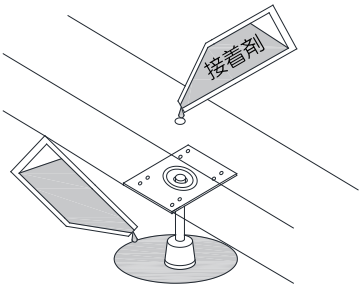
◆使用方法：
1）外袋の切口より指で引き裂いて内袋を取り出してください。
（ハサミ･ナイフ当で切らないでください）
2）内袋中央部のクリップを取り外し、主剤と硬化剤を混合します。
3）袋を交互に軽く握りしめ樹脂を移動させながら３０～４０回、色が均一になるまで充分に混合してください。特に四隅の樹脂は指やクリップでしぼりだし、よく混合してください。
4）混合が終わり次第、三角先端部分をハサミで切り、すみやかに注入してください。
5）接着剤は混合後、２０分（20℃）を目安にご使用ください。

◆規格：
１パック：180ｇ入り（主剤（黒色）100ｇ＋硬化剤（透明）80ｇ）
混合粘度　　：５５００ｍＰａ・ｓ（２０℃）
混合比重　　：１．０８　　（　〃　）
可使時間　　：２０～３０分　　（　〃　）
指触硬化時間：５～６時間　　（　〃　）
硬化時間　　：24 時間以上　　（　〃　）
危険物表示　：第４類第３石油類　危険等級Ⅲ
主成分　　：主剤・エポキシ樹脂、着色剤　硬化剤・シリコーン樹脂、アミン



◆注意事項：
・支持脚接着作業以外には使用しないでください。
・取扱時は保護手袋、保護メガネを必ず着用してください。
・誤って皮膚に付いた場合は、すぐに拭き取り、石鹸水で充分に洗ってください。
・万が一、眼に入った場合は多量の水で洗い、すぐに眼科医の診療を受けてください。
・作業後は、手洗い、洗顔、洗眼、うがいを励行してください。
・接着剤は直射日光を避け、乾燥した涼しい場所に保管してください。

ネダのレベル調整が終了したら、すべての支持脚に接着剤を注入します。必ず万協フロアー指定の支持脚用接着剤（アルボンＥＸ－３３０・上記）を使用します。
台座中央のくぼみから注入し、更に支持脚のゴムの周囲に塗布します。
接着剤により、スラブと支持脚および台座とボルトを固定します。



注意　広範囲にウッドデッキを施工する際は、ネダ施工２０～30 ㎡目安で接着剤を注入します。
但し、接着剤は混合後 20 分程度で硬化がはじまります。硬化すると使いまわしができません。接着剤が無駄にならない様に、注入する際は支持脚の本数を計算して、ご使用ください。

・注入量の目安は以下の通りです。
PDB-　55～135　6ml（内訳：ベースプレート底部 2ml + 台座 4ml）
PDB- 160～520　7ml（内訳：ベースプレート底部 2ml + 台座 5ml）

4.6 床板（デッキ材）の施工

床板（デッキ材）の取付け方法は、２種類あります。

⒜ノンビス工法

専用金具を使い、床板（デッキ材）を固定します。仕上り時、ビスが見えない工法で、工期が短縮できます。

デッキ材は、ミゾ加工が行われているものをご使用ください。

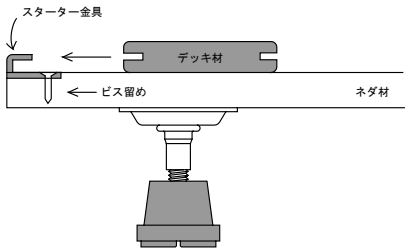
⒝ビス留め工法

床板（デッキ材）をビスで固定します。仕上り時、ビスが見えますが強度、安定性ではノンビスに勝ります。

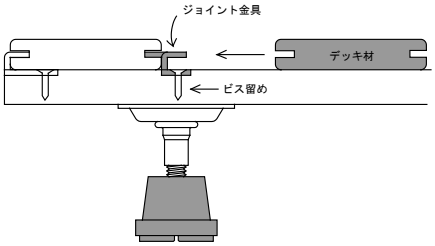
手順

⒜ノンビス工法

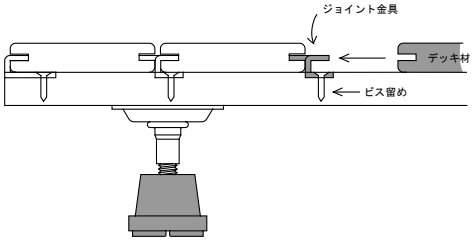
①ネダ材の端にスタータ金具をビスで固定します。
デッキ材の側面のミゾをスタータ金具にはめ込みます。



②ジョイント金具をビス留めします。
デッキ材の側面のミゾをジョイント金具にはめ込みます。

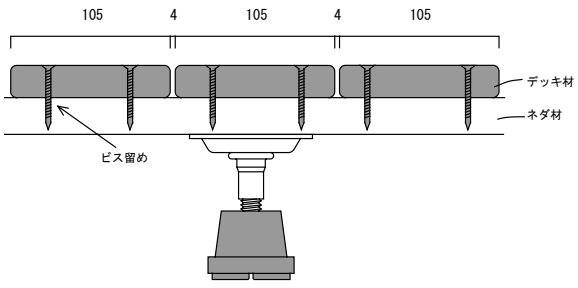


③②を繰り返します。



⒝ビス留め工法

デッキ材をネダ材に直接ビス留めします。



5.その他

5.1 その他の注意事項

- 施工要領書に記載のない施工をおこなう場合は、事前にご相談ください。
- 事業主様によっては、本施工要領書とは別に規定を設けている場合がありますので、ご確認の上、施工をおこなうようご注意ください。

「仕様は予告なく変更することがあります。」